

科目ナンバリング		U-LAS26 20002 SJ48					
授業科目名 <英訳>	スペイン語IIB S2151,S2152,S2153,S2154, S2155 Intermediate Spanish IIB			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授 塚原 信行 非常勤講師 川添 誠 非常勤講師 駒村 幸 非常勤講師 牛島 万		
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・後期	曜時限	火2/火4/水4/水5	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]							
<p>共通・教養科目としてのスペイン語コースの目的は、スペイン語学習を通じて、現代世界の中で自分の位置を確認することです。</p> <p>「教養」とは、世界における自分の位置を知るための地図です。学習を通じて各自が作り上げていく「教養」地図の一部を、スペイン語学習を通じて構成していきます。また、地図だけがあっても、現在地がわかっていなければ、人生の道のりを考えることができません。現在地をつかむため、スペイン語圏の社会や文化を参照しつつ、自分という存在を社会的に認識するという作業も行います。スペイン語圏は地理的に広範囲にまたがると同時に、内部に大きな文化的・言語的・社会的・歴史的多様性を抱えています。したがって、自分という存在を相対化するために適切な「なにか」が見つかる可能性も比較的高いと言えるでしょう。そうした特徴を活用しつつ、「教養」地図に自分の現在地を書き込み、自分の将来についても考えてみましょう。</p> <p>本コースでは最終期のまとめとして、新聞記事を主とする実際のテキストを対象とし、そこから情報を得る訓練を行います。</p>							
[到達目標]							
<p>スペイン語圏の文化や社会に関する知識を獲得する スペイン語圏の文化や社会に関して思慮する 文化の伝達媒体であると同時に文化それ自体でもあるスペイン語を学習する ローカルな存在としての自己とグローバル世界を結びつけて考えられるようになる</p>							
[授業計画と内容]							
<p>(授業回・文法テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 01. オリエンテーション 02. 動詞の非人称形(テキストL9) 03. 直説法の単純時制(テキストL10) 04. テキスト読解(1) 05. 直説法の複合時制・接続法の時制(テキストL11) 06. 直説法と接続法の選択(1): 名詞節・名詞修飾節・単文(テキストL12) 07. テキスト読解(2) 08. 直説法と接続法の選択(2): 関係節・si条件文・副詞節(テキストL13) 09. 時制の一致と話法転換(テキストL14) 10. テキスト読解(3) 11. 直説法と接続法の選択: 補足(テキスト 文法補足I) 12. テキスト読解(4) 13. 語順・強調表現(テキスト 文法補足II) 14. 総復習 < 期末試験 > 15. フィードバック 							
----- スペイン語IIB S2151,S2152,S2153,S2154,S2155(2)へ続く							

スペイン語II B S2151,S2152,S2153,S2154,S2155(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

授業期間内課題：50%
レポート課題：15%
コメント課題：15%
期末試験：20%（単位認定のためには期末試験において30%以上の得点が必要）

[教科書]

宮本・辻井 『中級スペイン語文法-ミニ会話付-』（朝日出版社）ISBN:978-4255551395（2023年発売の改訂版。）

オンライン課題は学習ポータルサイトで提供します。

<https://esp-kyoto-u.com/>

サイトアカウントの有効期限が切れている場合は、生協オンラインショップ（<https://ec.univ.coop/shop/c/cM2/>）で利用権を購入し、有効期限が延長されるのを待ってください。期末試験もサイト上で実施します。

[参考書等]

（参考書）

上田博人 『スペイン語文法ハンドブック』（研究社）ISBN:978-4-327-39420-2

（関連URL）

<https://esp-kyoto-u.com/>(学習ポータルサイト：必ずチェックしてください)

<https://ec.univ.coop/shop/c/cM2/>(生協オンラインショップ：延長利用権購入はこちら)

[授業外学修（予習・復習）等]

コース全体を通して予習は不可欠です。コース全体を通じて次の学習モデルを採用しており、これに適合した学習計画を立てる必要があります。

テキストを予習し、疑問点を明らかにしておく

授業を利用して疑問点を解消

オンライン課題により の成果を確認

それでも疑問点が残った場合、次の授業で担当教員にフィードバックを求める

[その他（オフィスアワー等）]

- ・授業時は、ノートパソコンあるいはタブレットを持参してください。
- ・初回授業日2日前までに、スペイン語サイト内で、自分のアカウントの履修コースおよびクラスのデータを正しく設定してください（ログイン後、上部にある[管理]メニューから[会員情報]を開き、[履修コース][クラス]で設定）。
- ・受講者には学習管理能力が必要となります。学習管理のために必要な作業を自分で判断し実行することが求められます。
- ・わからないことがあれば、まずサイトQ&A（<https://esp-kyoto-u.com/pyr/>）を参照してください。
- ・その他質問はスペイン語相談室、あるいはスペイン語サイトの連絡フォーム（<https://esp-kyoto-u.com/contacto/>）で受け付けます。それ以外の経路での連絡はこちらに届きません。スペイン語相談室の開室スケジュールはスペイン語サイトで公開されます。

[主要授業科目（学部・学科名）]